

**事業で使用する電力の100%再生可能エネルギー化に向け
LHTの生産拠点として最大規模であるトステムタイに、太陽光発電システムを設置**

株式会社 LIXIL は、LIXIL Housing Technology（住宅建材事業、以下 LHT）の生産拠点として最大規模であるトステムタイ（タイ工場）において、工場屋根上に敷地あたり最大設置制限である 5MW の太陽光発電システムを設置し、2021 年 10 月より稼働します。



（写真）トステムタイ（タイ工場）の様子

LIXILは、環境ビジョンに、2050年までに、事業プロセスと製品・サービスを通じて、CO2の排出を実質ゼロにし、水の恩恵と限りある資源を次世代につなぐリーディングカンパニーを目指す「Zero Carbon and Circular Living（CO2ゼロと循環型の暮らし）」を掲げています。

この実現に向けた3つの領域のひとつに「気候変動対策を通じた緩和と適応」を掲げ、事業で使用する電力の100%を再生可能エネルギーにすることを目指す企業イニシアチブ「RE100」に参加し、再生可能エネルギーの活用を促進しています。

LHTでは、生産拠点として最大規模であるトステムタイにおいて、工場屋根上に、敷地あたりの最大設置制限である5MWの太陽光発電システムを設置することを決定いたしました。トステムタイは、敷地面積約59万㎡を誇る鋳造から加工までのアルミ一貫工場で、LIXILのアルミ建材の約30%を生産しております。サッシやドアなどの住宅建材以外にも、各産業で使用されるアルミ部品（OEM）の製造・販売も行っております。

発電された電力は工場内で全量自家消費することで、事業で使用する電力の再生可能エネルギー化とCO2の排出削減に寄与し、CO2排出削減効果は年間約4,000トンとなります。また、このことによるトステムタイでのCO2削減率は5.1%、再生可能エネルギー比率は8.5%になります。

なお今回のトステムタイへの太陽光発電システム導入は、タイ国投資委員会（BOI）の投資奨励制度、および外務省の政策である 二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism: JCM）を活用しています。

LIXILではこれからも、世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現と持続可能な社会へ貢献するべく、環境ビジョン2050の達成に向けて取り組んでまいります。